



//////
**図書館と県民の
つどい埼玉**

2022

記録集

//////

埼玉県図書館協会

目次

- 門井慶喜さん記念講演
「家康に学び、江戸に学ぶ」———— P1 ~ 2
- 高柳芳恵さん講演会
「自然はふしぎがいっぱい！
—好奇心をかきたてる身近な自然との向き合い方—」———— P3 ~ 4
- 中学生のビブリオバトル———— P5 ~ 6
- 司書が語る！ Live イベント———— P7 ~ 9
- WEB展示（公共図書館部会）———— P10 ~ 12
- WEB展示（高校図書館部会）———— P13 ~ 15
- WEB展示（大学図書館ほか）———— P16 ~ 17
- WEB展示（まとめ）———— P18
- 協賛企業・プレゼント———— P19
- 後日配信・公立図書館による協賛展示———— P20
- 関係者名簿———— P21 ~ 22
- 開催要項、チラシ———— P23 ~ 24

はじめに

図書館と県民のつどい埼玉は、皆様に「本に興味を持っていただきたい」、「図書館について知っていただきたい」という思いから始まった県内最大級の図書館イベントです。図書館関係者と県内、県外からいらっしゃった多くの皆様がつどい交流する場として、平成 19 年度から毎年開催しています。16 回目となる今年度は、2022 年 12 月 10 日（土）から 2023 年 1 月 31 日（火）まで「門井慶喜さん記念講演」「高柳芳恵さん講演会」「中学生のビブリオバトル」「司書が語る！ Live イベント」や「司書が魅せる！ WEB 展示」を実施し、延べ 1,543 人の皆様にご参加いただきました。

本冊子では、「図書館と県民のつどい埼玉 2022」の様子を紹介いたします。

Zoom オンライン開催

参加
無料
県外の方もOK!

図書館と県民の
つどい埼玉

後日
配信
~1/31 視聴可能!

2022 12/10(土).11(日) 10:00-16:00

記念講演

門井慶喜さん記念講演 「家康に学び、江戸に学ぶ」

記念講演は、作家の門井慶喜さんにお話しいただきました。埼玉県立浦和第一女子高校担当部長兼主任司書の木下通子さんが進行役となり、Zoom での Live 配信及び後日配信を行いました。今回は 2023 年の大河ドラマに関連して「家康に学び、江戸に学ぶ」というテーマで御講演いただきました。

■大阪の職場からの講演

今回は門井さんの職場から、リモートでの御出演となりました。講演の中で数万冊の蔵書があるという書庫についても御紹介いただきました。



■利根川を曲げちゃおう

秀吉に命じられて江戸に行くこととなった家康でしたが、当時の江戸は出身の東海地方と比べて田舎でした。また、東京湾に注ぐ利根川の河口付近で水が広がってしまい、江戸は水浸しでした。このままでは人が住むことができないということで治水工事に着手します。水路を作ることによって水はけがよくなり、人が住めるようになります。同時に物流の動脈としての水路が江戸の町中できていきます。すると、だんだん人や物が集まるようになり、石垣や城の造成工事の仕事が多く

ある江戸では賃金が高くなり、急速に人々が増えていきます。江戸という町の大本のひとつは治水工事であります。

とはいえ、群馬県山中から南にまっすぐ降りて東京湾まで続く利根川を一気に曲げることはできません。利根川と北から南に流れる無数の川と少しずつ合流させて徐々に利根川を曲げていきました。利根川を茨城県鹿島灘、つまり太平洋に流してしまおうという企画は家康の頃に始まりましたが、この利根川東遷事業が完成したのは明治になってからという説もあります。この事業で重要な役割を担ったのが、埼玉県北足立郡伊奈町の地名の元にもなった伊奈忠次です。忠次は途中で亡くなってしましますが、その息子・孫が今でいう小室で地方（じかた）支配を続けていきます。

■「江戸」から「大江戸」へ

伊奈の家臣団である松平家で生まれたのが松平信綱です。のちに川越藩主となります。川越藩を作ったのはほぼこの人と言ってよいでしょう。川越は小江戸と呼ばれますが、川越と江戸を連絡させようと川越と江戸の浅草を繋ぐ大きな水路を作りました。

信綱は4代将軍の家綱の頃にも老中を務めていましたが、この頃、明暦の大火が起きて江戸の町が丸焼けになります。このことは僕の小説『江戸一新』（中央公論新社）に見てきたかのように書いていますが、お城の周りの町から天守閣まで全部焼けて将軍も被災するほどの火事でした。信綱は火事からの復興として、江戸の町を作り変えなければいけないとき、元の町より大きく、便利で、火事の起きない町にしようと尽力しました。僕の言葉でいうと、それまでの江戸というのは「江戸」であった、そこから先は「大江戸」である、というように「江戸」から「大江戸」が変わったのが、明暦の大火の復興であると位置づけています。

■消防という観点での町づくり

江戸の町並みでいうと、消防車がありません。水をかけて火を消すことができないため、結局、破壊消防になります。火が出たら周りの家を壊して燃え移らないようにするしかありません。町づくりとして一番有効なのは道幅を広げることになります。道幅を広げることで、例えば西側で火が出ても東側にはいかない、という発想です。

当時の言葉で「広小路」と言いますが、この言葉変じゃないですか。大きいのか小さいのかわからないような言葉です。元々小路（小さい道）を広げたから「広小路」と名付けられています。これは道であり、同時に防火帯です。

明治からはだんだん水を使った消防も発展してきますが、それでも限界があります。大正 12 年、関東大震災があった際、地震で家屋はつぶれて、木造の家は火災で燃えてしまいました。震災復興が始まるわけですが、このときに音頭を取ったのが後藤新平です。

台湾の町づくりで成功の実績を持つ後藤新平が最初にやったことが広小路でした。なんと江戸時代と一緒です。大正時代なので名称は道路拡張ではありますが、類焼させないという工夫は変わりません。そうやってできた震災復興道路が、例えば今の靖国通りです。東京を歩くときに「なんかこの通り広いな」と思ったら、ひょっとしたら広小路かなと思ってみると大体正解です。ぜひ調べてみてください。



■視聴者からの質問

Q: 歴史小説を書こうと思ったきっかけはなんですか。

A: デビューは現代小説のミステリーなのですが、僕の書くミステリーは殺人事件などでは始まらず、美術品などの文化財を取り扱うことが多いことに気付きました。現代小説で文化財を扱うと、どうしても現代が一枚挟んでその向こうに歴史があるという風になりますけれども、歴史小説であれば、現代なしに直接歴史の中に入っていけるから書いたらおもしろいのではないかと思います、今に至ります。

Q: 『家康、江戸を建てる』（祥伝社）で家康以外の人物に注目するという発想はどこから来たのでしょうか。

A: 僕が最初に書きたいと思ったのは、町ができるころなんですね。何もないところに江戸っていう町ができちゃうというのは考えてみたらすごい話だなと思って、それで調べていったのが実は先です。最初から家康を書こうと思っていたわけではなかったんです。

Q: 『銀河鉄道の父』（講談社文庫）を書こうと思ったきっかけはなんですか。

A: きっかけは息子のために買った宮沢賢治の伝記漫画です。僕も読んでみたら、お父さんは少ししか出てこないけど、立派だなと思いました。宮沢賢治の父を書いた本はこれまで1冊もなく、小説でも研究書でもなかったんです。これは僕が書こうと思って書き始めました。だから元々のきっかけは1冊 1,000 円の漫画です。

門井慶喜さん、江戸時代が身近に感じられるワクワクするような楽しい御講演をありがとうございました。

(記録：埼玉県立熊谷図書館 大高 広頌)

こども読書活動交流集会

高柳芳恵さん講演会

自然はふしぎがいっぱい！

－好奇心をかきたてる

身近な自然との向き合い方－

■はじめに

高柳芳恵さんは、1948年生まれ、絵本作家、サイエンスライター、科学読物研究会会員として、多岐にわたり活動をされています。代表作には、『葉の裏で冬を生きぬくチョウ』（偕成社）などがあり、今回はドングリやセミ、草花あそびについて、ご自宅からオンラインで実演を交えながら講演していただきました。

■ドングリ

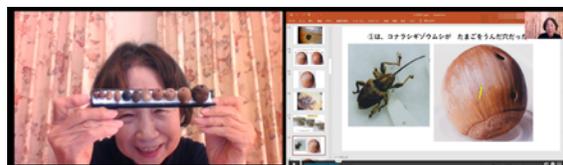
ドングリの穴を追いかけて、『どングリの穴のひみつ』（高柳芳恵文 つだかつみ絵 偕成社）という本を書きました。昔、幼い娘と遊んでいた時、ドングリこまを作り、まわしていると、シギゾウムシの幼虫が出てきました。ふらっふらと歩く幼虫をじっとみていると、「あら、かわいい!」と思いました。そして、あんな小さな穴からどうやって出てきたんだろう、見てみたいなど思ったのがドングリの穴にひかれるきっかけでした。

自然の中のことはわかっているようでわかっていることが多いものです。だから皆さんも面白いなと思ったらもうちょっと深く頑張ってみてみると、世界中の誰もみたことがないことを発見できるかもしれませんよ。自然にはね、人間の知っていることなんてひと握りだな、なんて思うんですよ。

夏の終わり、ドングリがついている葉が落ちているのを見たことがありますか。2、3枚の葉とドングリがついていて、切り口がスパッとナイフで切ったようなもの。これはハイイロチョッキリ

が卵を産んだドングリです。詳しくは、『どングりをおとしたのはだれ?』（高柳芳恵文 はたこうしろう絵 福音館書店）を読んでみてくださいね。

最初はきれいと思っても、その生き物がどんな生き方をしているかを知ると、気持ちが悪いという壁が取れて、見方が変わることがあります。私も娘とドングリこまをまわさなかったら、幼虫を土に捨てていたと思います。本当にちょっとしたきっかけで気持ちが変わります。相手のことをよく知ることで理解できる、知らないから怖い。これは虫だけに限らないことだと思います。相手を知ることが相手を理解する第一歩かなと思いました。



※穴あきドングリによる演奏（左）、クヌギシギゾウムシが卵を産んだ穴（右）

■セミ

セミは、どんな枝や幹に卵を産んでいるでしょう? 枯れた小枝やすでに組織が死んでいる古い樹皮に卵を産んでいます。生きた枝には、産卵しません。さあ、どうしてでしょう? 自分で考えてみましょう。答えが分からない現象を見たときに、「もしかしたら、こうかな?」と考える、そこが私は一番好きで、「どうしてなの?」とセミに聞きながら自分で一生懸命考えています。

セミの幼虫は、卵から出てくるときは、全身うすい袋をかぶっており、袋から出て初めて6本の脚が見えます。それは、カマキリの幼虫とおなじです。袋に保護されて卵の殻から出れば、きゃしゃな脚が傷つかないからでしょう。その後、幼虫は地に潜っていき、長い年月を土の中で過ごします。『せみのぬけがら』（高柳芳恵文 城芽ハヤト絵 福音館書店）この本には、私が感じたセミの抜け殻の魅力を書いています。

※セミのぬけがらの前足を使ったあそび



「キセル」として煙の代わりに出てきたのは「水」でした。噴水遊びです！

■きっかけは一冊の絵本から

『ふゆめがっしょうだん』（冨成忠夫写真 茂木透写真 長新太文 福音館書店）この絵本に初めてあったときに思ったことは、「これって本物なんだ、さみしそうに見える木にこんなかわいい顔があるんだ！見てみたい！」ということでした。

子供の科学の本というのは、どのようにして子供の好奇心を引き出すかっていうのが一番の大きな課題ですよ。

この絵本を読んだあと、外に飛び出していきました。落ちていく葉っぱにもおんなじ顔を見つけて、とてもうれしくなりました。

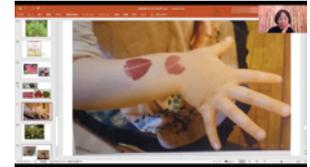
2月末、コップに入れておいた小枝の冬芽からなみだが出ていたんです。コップの水が枝先へと上がってきたんだと思いました。早春、公園にある木の枝から水が染み出ているのを見つけ、飲んでみたら、なんとおいしいこと！そんな経験をしているうちに、ふとある絵本のワンシーンが思い浮かんできました。『にぐるまひいて』（ドナルド・ホール作 バーバラ・クーニー絵 もきかずこ訳 ほるぷ出版）です。カエデから樹液をとり、煮詰めて楓砂糖をつくったというページがあります。メープルシロップを取る場面でした。『輝きの季節へ』（ターシャ・テューダー作・絵 食野雅子訳 メディアファクトリー）や『夜明けまえから 暗くなるまで』（ナタリー・キンジー＝ワーノック作 メアリー・アゼアリアン絵 千葉茂樹訳 BL 出版）にも同じ場面が出てきます。メープルシロップについて考えていてひらめいたことは、葉っぱの赤ちゃんはまだ自分で光合成して栄養を作ることが出来ない。だから栄養豊かな樹液を含んだ水が葉っぱを育てる役目

をしているということでした。葉っぱの赤ちゃんに届く水がミルクの役割をしているとは、なんて自然の仕組みはうまくできているのだろうと思いました。

ミルクを飲んで出てきた葉っぱのあかちゃん。ミズキ、コナラ、アカメガシワ、アジサイ、キリ、イチョウ、オニグルミ。いろんな冬芽の赤ちゃんが出てくる様子を見て、『でてきたでてきたはっぱのあかちゃん』（高柳芳恵文 松江利恵絵 福音館書店）という本を作りました。

■草花あそび

子供たちとアカメガシワの葉っぱを使ったシールあそびもよくやっています（写真）。



また、ドングリがなるシラカシの木を使った遊びもふと思いついた遊びです。

春に出てくるシラカシの新しい葉っぱは、うす茶色をしています。この柔らかい葉を数枚取り、両手に挟んでもみもみするとふりかけになります。でも、どんな種類の木でもできるとはかぎりません。ふりかけになる葉とまらない葉があります。主に常緑樹に出来て、なぜ、できない木があるか。いろいろな種類の木で試し、葉っぱの持つ性質を考えていくと、興味深い答えが見つかるはずです。すると、草花あそびって、単純な遊びでは無いことに気づきます。自然の不思議をどんどん気づかせてくれるのが草花あそびです。

■おわりに

高柳さんは、御自身で撮られた写真を使い、分かりやすく説明してくださいました。自然に対する情熱が画面越しでも大いに感じられ、視聴者の方にとっても、普段は気付かないことに目を向けるきっかけになったと思います。

（記録：埼玉県立久喜図書館 鈴木 絵理奈）

ビブリオバトル

中学生のビブリオバトル

県内の中学生を対象にビブリオバトル（知的書評合戦）を実施しました。「図書館と県民のつどい埼玉」では、2014 年度から開催し、今年で 8 回目になります。県内の図書館に勤務するビブリオバトル普及委員を中心に実行委員会を組織して運営にあたりました。

ビブリオバトルとは、発表参加者が面白いと思った本を5分間で紹介し、参加者全員で発表に関するディスカッションを2～3分間行い、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本「チャンプ本」を決定する、書評ゲームです。

今回は新型コロナの感染状況に鑑み、会場での参加は出場中学生と引率者のみに限定しました。決勝の様子はオンラインで Live 配信を行い、ウェブサイト上では後日配信も行いました。

■予選会の様子

予選会は、県内の中学校から 16 校 21 名の参加者により、11 月 12 日（土）にさいたま文学館・桶川市民ホールで実施しました。発表参加者を 4 つのグループに分け、それぞれのグループで最も多くの票を獲得した発表参加者が決勝に進みました。



※予選会集合写真

■決勝の様子

決勝は「図書館と県民のつどい埼玉 2022」開催期間の 12 月 10 日（土）に実施しました。出場した生徒と紹介した本は以下のとおりです。
※発表順

涌井 琉斗さん（川越市立砂中学校）
『かべのむこうになにがある?』
ブリッタ・テッケントラップ / 作
風木 一人 / 訳（BL 出版）

高岡 祐輔さん（草加市立谷塚中学校）
『タスキメシ箱根』
額賀 滯 / 著（小学館）

薄井 愛香さん（春日部共栄中学校）
『きのうの影踏み』
辻村 深月 / 著（KADOKAWA）

高橋 凜さん（草加市立谷塚中学校）
『奇譚ルーム』
はやみね かおる / 著（朝日新聞出版）

会場・オンラインでの投票の結果、高橋 凜さんが紹介した『奇譚ルーム』が見事チャンプ本に選ばれました。

最後に、御担当の先生方、保護者様、関係者の皆様、参加に御協力・御尽力いただき、誠にありがとうございました。

（記録：埼玉県立熊谷図書館 大高 広頌）



※決勝集合写真

予選会の紹介本一覧

湯澤 莉子さん（星野学園中学校）

『NかMか』

アガサ・クリスティー / 著

深町 眞理子 / 訳（早川書房）

山本 鈴々さん（加須市立騎西中学校）

『推し、燃ゆ』

宇佐見 りん / 著（河出書房新社）

穂積 凧沙さん（埼玉県立伊奈学園中学校）

『女の子はどう生きるか 教えて、上野先生！（岩波ジュニア新書）』

上野 千鶴子 / 著（岩波書店）

石黒 英怜奈さん（さいたま市立与野南中学校）

『火星のライオン』

ジュニファー・L・ホルム / 作

もりうち すみこ / 訳（ほるぷ出版）

佐藤 快飛さん（日高市立高麗川中学校）

『空洞電車』

朝倉 宏景 / 著（双葉社）

小林 由妃乃さん（さいたま市立八王子中学校）

『コーヒーが冷めないうちに』

川口 俊和 / 著（サンマーク出版）

石塚 千尋さん（川口市立領家中学校）

『砂漠』

伊坂 幸太郎 / 著（新潮社）

田村 万実さん（埼玉県立伊奈学園中学校）

『心霊探偵八雲』

神永 学 / 著（KADOKAWA）

森野 なつさん（所沢市立美原中学校）

『スイッチを押すとき』

山田 悠介 / 著（KADOKAWA）

杉田 陽香さん（所沢市立北野中学校）

『世界飛び地大全』

吉田 一郎 / 著（KADOKAWA）

藤田 悠聖さん（春日部共栄中学校）

『世界の「頭のいい人」がやっていることを1冊にまとめてみた』

中野 信子 / 著（アスコム）

大野 成輝さん（さいたま市立馬宮中学校）

『探偵ガリレオ』

東野 圭吾 / 著（文藝春秋）

長濱 陽さん（加須市立北川辺中学校）

『長い長い殺人』

宮部 みゆき / 著（光文社）

土屋 瑠夏さん（川崎市立砂中学校）

『バブル』

バブル製作委員会 / 原作

武田 綾乃 / 著（集英社）

川越 ゆめさん（鴻巣市立赤見台中学校）

『ぼくたち負け組クラブ』

アンドリュー・クレメンツ / 著

田中 奈津子 / 訳（講談社）

江藤 光希さん（加須市立北川辺中学校）

『岬のマヨイガ』

柏葉 幸子 / 原作、吉田 玲子 / 脚本

森川 成美 / 文（講談社）

河本 彩夢さん（さいたま市立日進中学校）

『余命 3000 文字』

村崎 羯諦 / 著（小学館）

※決勝出場者を除く、タイトル五十音順

Live イベント

司書が語る！ Live イベント

「司書が語る！ Live イベント」は、「スタッフと参加者の皆様が双方向で交流できる」「司書・図書館を身近に感じられる」ということをコンセプトに企画されました。令和 3 年度から始まり、今年で 2 回目になります。

担当の司書が、番組ごとに設定したテーマにそって Zoom を使用し Live でお話しし、参加者の皆様からの質問をチャットで受け付けました。遠方の方も、Live で司書の話が聞けて質問できるという、オンライン開催の利点を活かしたイベントです。

12 月 11 日（日）に計 3 番組を配信しました。アンケートでも、「バリアフリー資料の実演を見て、利用のイメージをつかむことができた」「多くの高校の展示や取り組み、工夫、各校の特色を見ることができて勉強になった」など好評でした。以下では、公共図書館部会と高校図書館部会それぞれの番組について紹介します。

公共図書館部会による Live イベント

県立久喜図書館では、活字を読むことに障害のある方向けに、さまざまな障害者サービス用（バリアフリー）資料を所蔵しています。活字を読むことに困難を抱える人たちがどのように読書を楽しんでいるのか知っていただくために、この Live イベント企画しました。

読めない人の読書事情

～バリアフリー資料の今とこれから～

配信時間：12 月 11 日（日）12:20 ～ 13:20



はじめに、どのような人が読書に困難を抱えているのか考えていきました。例えば、視覚障害があり活字を見ることができない人がいます。発達障害のために、目は見えていても活字を読むことが困難な人もいます。また、知的障害のために、文字ばかりだと本の内容が理解できない人もいます。身体が不自由で本を持てなかったり、ページがめくれなかったりと、本を読むことが難しい人もいます。読書に困難を抱える人と聞くと視覚障害者を思い浮かべる人が多いですが、その事情は様々です。

続いて、スライドを使い、県立図書館で所蔵しているバリアフリー資料を紹介しました。まずは点字資料です。点字資料は、視覚障害者の方向けに活字の本を点訳（活字を点字化）したものです。活字の上に点字や絵が浮き出るように印刷されたユニバーサル絵本は、視覚障害の有無にかかわらず楽しめます。次に、デイジー図書を紹介しました。デイジー（DAISY）とは Digital Accessible Information System の略で、日本語ではアクセシブルな情報システムと訳されるデジタル録音図書の国際標準規格です。専用の再生機のほか、タブレットやパソコン、スマートフォンで再生できます。見出しやページ単位での移動ができ、再生スピードも変更できます。音声のみが再生される音声デイジーのほか、音声と文字と画像が同期して一緒に再生されるマルチメディアデイジーもあります。デイジーは視覚障害のある方だけでなく、ディスレクシア（読み書き障害）等の発達障害の方、肢体不自由の方に利用されています。



※音声デイジー実演

マルチメディアデージーに関連して、アクセシブルな電子書籍（EPUB）も紹介しました。マルチメディアデージーと同様、音声と文字と画像が同期して一緒に再生されます。デージー再生機のほか、タブレットやパソコン、スマートフォンで再生可能です。続いて、布の絵本を紹介しました。布の絵本は文字通り、布でできた絵本です。マジックテープやボタンが付いていて、パーツを動かしながら楽しむことができます。特別支援学校や特別支援学級等の団体に貸出を行っています。最後に LL ブックを紹介しました。LL ブックは、知的障害や発達障害の方向けにやさしい文章で分かりやすく書かれた本です。絵や写真、ピクトグラムが多く使われるといった工夫がされています。

続いての実演タイムでは、布の絵本『いないいないばあ』、点字図書『健康・医療情報リサーチガイド @ 埼玉』、音声デージー『源氏絵の系譜』、マルチメディアデージー『サンドイッチつくろう』などを紹介しました。実演を見ていただくことで、各資料の特徴を理解していただけたと思います。

さらに、視覚障害者の最新の読書事情として、Kindle を紹介しました。Kindle は、iPhone に標準搭載されている画面読み上げ機能 VoiceOver で読むことができます。点字図書やデージー図書の製作には時間がかかるため、視覚障害者の中には Kindle 版を購入して読書を楽しんでいる方もいます。中には音声読み上げができないものもありますが、スマートフォン普及で視覚障害者の読書事情は変化しています。

Live イベント終盤は、参加者から寄せられた質問に回答しました。音声デージーの再生スピードについてや、オーディオブックの利用についてなど、たくさんの質問をいただきました。Live イベントならではのアクシデントもありましたが、参加者の皆さんの御協力で充実した時間となりました。

（記録：埼玉県立久喜図書館 尾崎 栞）

高校図書館部会によるLiveイベント

■準備

高校図書館部会の Live イベントは、昨年に引き続き、高校図書館の紹介になりました。普段はあまり見られることがないので、工夫を凝らした展示やいろいろなコーナーがあるのを紹介したいと考えました。

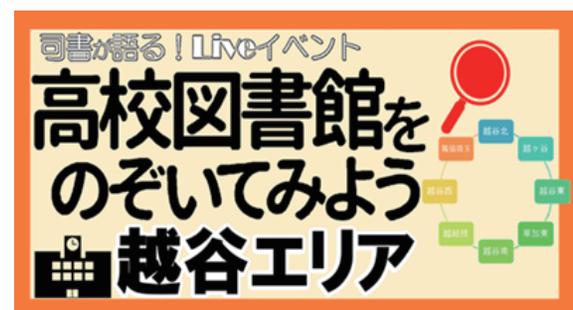
昨年度の PowerPoint がとてもよくできていたので、製作者の許可を得て、写真を入れ替えて使わせてもらいました。写真は、今年の実行委員である越谷と川口のネットワーク所属校に、正門・入口・カウンターなどテーマを決めて提出してもらいました。

本番は生配信なので、11月1日（火）と30日（水）に、越谷と川口の合同リハーサルを行いました。本番と同じ Zoom を使って、越谷地区は一カ所に集まって、川口地区はそれぞれの勤務校から参加して、接続や写真の写り具合を確認しました。同時に事務局や実行委員同士の打ち合わせも行いました。

以下はそれぞれの担当者が書いた内容紹介です。

高校図書館をのぞいてみよう 越谷エリア

配信時間：12月11日（日）13：40～14：20



今回の Live イベントは昨年度同様 Zoom を用いて行われ、東部 A ネットワークに所属する9校（越ヶ谷高校、越谷東高校、越谷西高校、

越谷南高校、越谷北高校、越谷総合技術高校、草加東高校、獨協埼玉中学・高校)の図書館を紹介しました。

ただ今回は昨年度から少しだけやり方を変えて、事前に集めた各校の図書館入口、館内全体、カウンター、ここを見て欲しいポイント等の写真とコメントをスライドにまとめたものを、二人の司書が明るい口調で掛け合いをしながら紹介し、前半終了後と全校紹介終了後にチャットに上がった質問に回答するという形で進行しました。なお当日回答できなかった質問は、「図書館と県民のつどい埼玉」のウェブサイトの中のLiveイベントのページで回答しています。

始まるまでは、新型コロナの影響による役割変更等のアクシデントで、少々バタバタしましたが、本番ではうまく進行することができました。なお今回は最大視聴者数 86 名、合計視聴者数 99 名と多くの方々に視聴していただき、チャットや終了後のアンケート回答では、各校の図書館の様子がよくわかった、進行が良かった等、多くの好意的なご意見ご感想をいただきました。

高校図書館をのぞいてみよう 川口エリア

配信時間：12月11日(日) 14:40～15:20



南部Eネットワークに所属する 10 校(南稜、戸田翔陽、蕨、鳩ヶ谷、川口工業、川口北、川口東、川口青陵、県立川口、川口市立)の図書館を紹介するライブイベントです。

事前に各校から集めた写真(正門、図書館入口、図書館内、カウンター、イチオシのコーナー

など)とコメントをスライドにまとめ、Zoomで紹介しました。昨年度に倣い、アピールポイントや他校への質問も司書から募り、充実した内容になりました。

前半後半2回に分けて視聴者からの質問時間を設け、その場でチャットに送られた質問に答えるなど、限られた時間の中で双方向のイベントになるよう工夫しました。最大視聴者数は 86 名と活気のあるものになり、中には県外から参加して下さった方もいたようです。

■まとめ

本番が終わった後、チャットの質問への回答のウェブサイトへの掲載、紹介された写真のウェブサイトへの掲載、などを行いました。

Live イベントは、準備と当日出演と負担が大きく、当日急に出演できなくなった人もいて、事前に撮影した録画を流した方がいいという意見も出ました。チャットを使っただけの質問もライブ感がありますが、回答に正確さは欠けます。

「図書館と県民のつどい 2022」全体のLive配信視聴者は昨年度の 726 人から 401 人と半減、うちLiveイベントも視聴者は 99 人と 86 人で昨年度より減少したと聞きました。

最終的な目的は、県内の各種の図書館が協力して、埼玉県民の図書館への理解を深めてもらうことです。来年度は対面できるとよいと思っています。

(記録：埼玉県立越ヶ谷高校図書館 石黒 順子)

公共図書館部会による WEB 展示

司書が魅せる！ WEB 展示

■はじめに

公共図書館部会では、以下5種類の WEB 展示を行いました。

- ①知っ得!レファレンスサービス (図書館が行っている調査・相談サービスがどのようなものか紹介しました)
- ②図書館ちゃんねる @ 埼玉 (県内の各地の図書館紹介動画を掲載しました)
- ③あなたに薦める「ご当地本」(各地の図書館が、所蔵する地域資料を紹介しました)
- ④読めない人のためのバリアフリー資料展 (読む人に合わせた色々な資料や方法について紹介しました)
- ⑤門井慶喜さん著作展示 (記念講演の講師、門井慶喜さんの著作を紹介しました)

図書館に普段あまり行かない方は図書館でどんなことができるかを知ることができ、普段からよく行っている方にはもっと興味を持てるようになるような構成になっていたことと思います。

今年度の大きな特色として、県内各地の市町村立図書館が独自に WEB 展示作品を作成した、ということが挙げられます。ここ数年の展示は、各図書館の情報をひとつにまとめて紹介することが多く、必ずしも各館の魅力を紹介しきれずにいました。一方で今回は、各 WEB 展示で合計 36 館もの図書館が参加し、どの展示作品においても色濃い内容を伺い知ることができました。この後の項で、各展示についてより詳しくご紹介します。

次年度行われる「図書館と県民のつどい埼玉 2023」でも、皆様が楽しめるような展示を企画したいと思います。これをお読みいただいている皆様、見てみたい展示のテーマや資料がありましたら、ぜひ事務局にお聞かせください。

<WEB 展示 参加館一覧>

知っ得! レファレンスサービス	上尾市図書館 小鹿野町立図書館 春日部市立図書館 熊谷市立図書館 さいたま市立中央図書館 さいたま市立岩槻図書館 幸手市立図書館 狭山市立図書館 秩父市立図書館 戸田市立図書館 三郷市立図書館
図書館ちゃんねる @ 埼玉 ※公式 YouTube チャンネルの 掲載を含む	入間市立図書館 小鹿野町立図書館 加須市立図書館 川口市立中央図書館 川口市立前川図書館 さいたま市立中央図書館 さいたま市立桜図書館 狭山市立図書館 戸田市立図書館 羽生市立図書館 飯能市立図書館 東松山市立図書館 三郷市立図書館 吉見市立図書館 和光市立図書館 埼玉県立図書館
あなたに薦める 「ご当地本」	小鹿野町立図書館 小川町立図書館 加須市立童謡のふる里おとおね図書館 さいたま市立大宮西部図書館 さいたま市立北図書館 坂戸市立図書館 狭山市立図書館 秩父市立図書館 所沢市立図書館 戸田市立図書館 深谷市立図書館 本庄市立図書館児玉分館 本庄市立図書館本館 三郷市立図書館 宮代町立図書館 三芳町立図書館 埼玉県立総合教育センター さいたま文学館 埼玉県立図書館

知っ得!レファレンスサービス ～まだ利用したことがないあなたに 知ってほしい 10 のこと～

レファレンスサービスをまだ利用したことがない、利用したことはあるけど上手な利用方法が分からないといった方が、図書館で実際に利用するときの手助けになるような展示を作りました。また、既にレファレンスサービスのことは知っているという方でも、近くの図書館ではどこに行けばいいのか、過去にどんな質問があるかといった情報にたどりつけるように、県内市町村立図書館のレファレンスを受けているカウンターの写真やレファレンス協同データベースの事例の紹介も行いました。今回の見どころは WEB 展示という特性を活かすために、スマートフォンで見やすい縦画面仕様の動画、ダウンロードして楽しめるすごろくを用意した点です。まず、動画については、職員1人が利用者役、職員役の2役を演じ、実際のレファレンスサービスの流れを2分ほどにまとめました。図書館でレファレンスサービスを初めて利用するという方の不安が少しでも解消できればという思いで作りました。そして、すごろくについてはレポートの宿題が課されたという設定で、図書館を活用しながらレポートを書きあげる道りを描きました。どちらも家にいながらレファレンスサービスの流れを体験できるように工夫しました。

また、この展示には11館の県内市町村立図書館レファレンスカウンターについて、写真と文章で紹介しました。展示の中から自分の近くの図書館を見つけた時に、「ここで聞けばいいのか」とわかるようになっていきます。動画でのデモンストレーションと併せて、カウンターの写真を見ることで、レファレンスサービスを利用する最初の一步の後押しになるように工夫しました。

このように、今回の展示では WEB 展示の特性、そして県内の公共図書館同士が集まった展示であることを活かして、より多くの県民の方がレファレンスサービスを使うきっかけづくりをし

ました。図書館のカウンターは本の貸し借りだけを行っているのではないという印象が、この展示を通して伝わればよいと考えています。そして、県民の方が情報の探し方に困った時に、図書館と一緒に調べものの手伝いができるということを選択肢として入れてもらえたらと願っています。

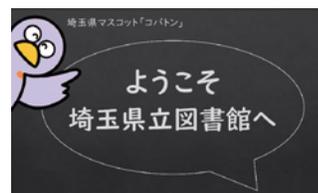
図書館ちゃんねる@埼玉 ～スマホで巡る文化の館～

本展示では、県内市町村立図書館に2分ほどの紹介動画を作成していただき、WEB ページを作成しました。参加館数は7館です。一般的な紹介から特色のあるサービスまで、個性豊かな紹介動画が集まりました。

WEB ページを作成するにあたっては、ただ動画を並べるだけでなく、埼玉県地図を合わせて掲載しました。当該図書館のある市町村が、県内のどこにあるのかを知っていただくためです。また、それぞれの図書館のウェブサイトへのリンクも掲載しました。これによって、図書館に興味を持った閲覧者が、その図書館についてさらに詳しく知ることができるようになりました。番外編として、すでに公式 YouTube チャンネルなどで公開されている紹介動画も掲載しました。

埼玉県立図書館の紹介動画については、「埼玉県立図書館はどのようなところなのか」という基本的な内容を中心とした動画を作成しました。

熊谷市と久喜市に所在していること、最寄りの市町村立図書館などから資料を取り寄せることができること、資料が分野によって分かれていること、学術書や専門書が中心になっていることなど、県立図書館の特徴的な点を紹介しました。さらに、ナレーションを入れる、UD フォントを使用するなど、バリアフリーにも配慮した動画作成を心がけました。



図書館と一口に言っても、場所によってさまざまですが、どこの図書館も、利用者のことを第一に考え、実践していることは共通しています。そのことが伝わる企画になったのではないかと思います。今回の動画作成が、今後の各図書館での広報活動に生かされることを願っています。

あなたに薦める「ご当地本」

～まだまだあります本との出会い～

地域の図書館には、それぞれの館だけが持つ地域資料が多くあります。中には、一般に流通しておらず、全国的にもあまり知られていないものもあります。今年度の公共図書館部会では、そのような資料が県民の皆様の日々にふれる機会をより多く作るべく、それぞれの図書館が特に薦める地域資料を「ご当地本」と称して、紹介する展示を企画しました。どのような本があり、どのように面白いのかについては、地域資料の専門家である、各地域の図書館職員がその魅力を発信する形にしました。

それぞれの図書館が、①お薦め対象（「歴史を研究している人」など）に向けて、②書評タイトル、③資料名・出版社・年度、④書評・推薦文（200字程度）の形式で、「ご当地本」を紹介しました。

例えば、地芝居歌舞伎を愛する人へ（小鹿野町）、和紙にときめくあなたに（小川町）、鉄道や歴史に興味がある方に（さいたま市 / 大宮西部）、盆栽が好きなあなたに（さいたま市 / 北）、伝記を読みたいあなたへ（坂戸市）、歴史に興味がある大人の方へ（狭山市）、絵本が好き、ゆるキャラが好き、地域独自のものが好きなあなたにおすすめ（深谷市）、伝統農法に興味があるあなたに（三芳町）などを対象にしたお薦めの「ご当地本」23冊が、19館から集められました。

地域資料について御不明な点がありましたら、ぜひお近くの図書館に御相談ください。

読めない人のためのバリアフリー資料展

ディスレクシア（読み書き障害）や肢体不自由、知的障害等の「目は見えるけれど読書が難しい」方に障害者サービス用資料を知っていただくことを目標として展示ページを作成しました。

展示では、（公財）日本障害者リハビリテーション協会のウェブサイト等を参考に、ディスレクシアとは何か、なぜ文字が読みにくいのかを図説し、その後に資料の紹介を行いました。この記録集の「司書が語る！ Live イベント」の頁に布の絵本、点字資料、マルチメディアデイジー等資料の説明を記載しましたので御覧ください。

その他、資料について御不明な点がありましたら、埼玉県立久喜図書館バリアフリー読書推進担当まで御相談ください。

門井慶喜さん著作リスト

本展示では、記念講演の講師・門井慶喜さんの図書と雑誌記事のリストを Excel で作成し、掲載しました。Excel で作成することで、視聴者がダウンロードし、リスト内検索や条件による抽出ができるようにしました。

図書は門井さんの単独著作について、デビュー作（2006年）から2022年10月の作品まで、主に県内図書館に所蔵があるものをまとめました。出版社に紹介ページがある場合は合わせて掲載し、内容について知ることができるようにしました。また、文庫化や受賞歴なども掲載し、門井さんのこれまでが辿れるように工夫しました。

加えて、今回の講演に関連し、門井さんの執筆記事のうち、江戸や徳川家康にまつわるものを抽出して紹介しました。講演をご覧になれた方もそうでない方も、これらを読んでさらに造詣を深めていただければと思います。

（記録：埼玉県立熊谷図書館 松本 明文）

高校図書館部会による WEB 展示

展示・生徒図書委員会・ 推奨図書・イチオシ本の紹介

■はじめに

今年度で 16 回目となる「図書館と県民のつどい埼玉 2022」は、新型コロナウイルスが収まる気配がないので、昨年と同じくオンラインで開催されました。

はじめてのオンライン開催だった昨年の例にならって準備を進めていきましたが、昨年通りに行かないことが多々ありました。会議も対面ではなかなか開けないので、インターネットを使って会議やリハーサルを行い、電話やメール、Google Classroom など連絡を取り合い、協力して制作作業を進めました。

■実行委員

高校図書館部会の実行委員は、地区ネットワークの持ち回りになっています。今回は、東部 A ネットワーク（越谷地区）から5名、南部 E ネットワーク（川口地区）から6名の計 11 名が担当することになりました。

はじめての実行委員会だけは、2022 年8月4日（木）に越ヶ谷高校で、対面で実施しました。そこで顔合わせをして、役割分担、企画の内容を検討して決定、Google Classroom の設定などを行いました。

相談しながらタイトルまで決めたのが、以下の企画です。

<WEB 展示>

うちの推し、集めてみました。(越谷)
本×青春(アガル)！=高校の図書委員会
(川口)
県民が選んだ埼玉県推奨図書
司書が選んだイチオシ本

<Live イベント>

高校図書館をのぞいてみよう 越谷エリア
高校図書館をのぞいてみよう 川口エリア

■準備

それ以後、それぞれの分担で準備を進めました。

WEB 展示は、高校図書館の様子を伝えるために、各校での展示を紹介することにしました。テーマ展示は、高校生の興味や生活に合わせて、ほとんどの高校図書館で、様々なコーナーが作られています。図書館関係者の実務にも役立つように、ブックリストも付けました。

また図書委員の生徒たちは、図書館運営の大事なスタッフなので、彼らがどのような活動や取り組みをしているかも伝えることにしました。

WEB 展示の制作は、テーマ別に写真を収集してレイアウトをするのですが、ウェブサイトに入れ込むのに非常に苦労しているように見えました。パソコンで見ると、スマホで見るとは見え方が違ったりしたようです。ウェブページの構築は、日頃の業務ではあまり経験がなく IT スキルの高い人がいないと太刀打ちできないという声も上がりました。

Live イベントは、各学校の紹介で、テーマを決めて写真を集め、許可を得て昨年の Power Point に写真を入れ込みました。

以下はWEB 展示のそれぞれのバナーと、担当者による内容紹介です。(高校の Live イベントの紹介は、別のページにあります。)

■WEB 展示①うちの推し、集めてみました。



この企画は今年の担当の東部Aネットワーク(越谷市を中心とした地区)のメンバーから各校で行った展示写真を集め、フォトアルバムにまとめたものです。

高校図書館では折に触れ、さまざまな展示を行います。学校の特色や司書の個性によってもテーマや本の選択、飾り方は多彩で、会議などで他校の図書館を訪れる際の楽しみになっていたりします。司書だけでなく、図書委員などの生徒たちがテーマ選びやポップ作成に関わることもあります。

集まった32の展示写真は「季節・学校行事」「授業とコラボ」「時事ネタ」「生徒たちのも素敵です」「エトセトラ」と、テーマごとに分け4つにまとめ、それに加え展示で使われた資料のリストをPDF形式で掲載しました。展示によっては相当な冊数となったため、書名とISBNのみを記載し、埼玉県立図書館のウェブサイト内の「埼玉県内図書館横断検索」にリンクをはり、詳しい書誌事項はそちらを参照してもらおう、という工夫をしました。

ウェブサイト上で見やすいように調整するのにかなり苦心しましたが、掲載した写真を、展示を作成する際のヒント、きっかけとして活用いただければと思います。

■WEB 展示②本×青春! = 高校の図書委員会



図書委員会活動をテーマに戸田・蕨・川口市内の9つの高校図書館を紹介したWEB展示です。

高校生たちが委員会の活動を通じて読書や図書館に親しみ、また高校生同士の交流を深

めていく様子を写真等で紹介しました。

この展示では、図書委員会活動を「日常風景」「イベント」「展示」「広報」「地域協力」「まだまだある!(その他)」の6項目に分けました。書架整理やカウンター作業といった「日常風景」以外にも、文化祭やビブリオバトルなど、その時にしか見られない「イベント」に励む様子も掲載しました。「展示」や「広報」では各校の特色を一覧で見比べることができます。独自性の強い「地域協力」では、高校生たちと司書が学校図書館の活動を校外へ広げる新規の取り組みを紹介しました。

さらに、本イベントのため各校の図書委員長から「図書館 or 図書委員会にハッシュタグをつけるなら?」への写真付き回答を募りました。生徒のアイデアにより「図書館と県民のつどい埼玉」公式Twitterで実際のハッシュタグとしても使われました。

今回の展示で、積極的に図書館に関わる高校生たちの姿や、読書・学習だけではなく図書館サービスをアピールできました。

■WEB 展示③県民が選んだ埼玉県推奨図書



令和4年度埼玉県推奨図書に関するWEB展示です。埼玉県では青少年の皆さんに読んでいただきたい図書を、推奨図書として毎年選定しています。

展示は、高校図書館部会が県民生活部青少年課と協力して行っています。実地の会場で行われる場合は実物の図書を展示。WEBが会場の場合は、県庁やブックフェア等での展示の様子、各種資料のデータを掲載しています。

掲載した情報は、青少年課推奨図書のパージへのリンク、推奨図書一覧のポスター、巡回展示の写真、次年度推奨図書候補作の推薦に関する応募要項などです。

例年「図書館と県民のつどい埼玉」における会場展示は、来場者の方々から埼玉県推奨図書に関するご意見を集め、青少年課にお伝えすることができる貴重な場となっていました。新型コロナウイルスの感染状況が改善せず、昨年度に引き続き WEB 開催となりましたが、オンラインであっても、「図書館と県民のつどい埼玉」推奨図書のページからの応募やアンケートなどによって、県民のみなさまからのご意見収集の機会を継続していく予定です。

■WEB 展示④

埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本



「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本」は、県内の高校図書館司書の投票によって、過去1年間に出版された本の中から「高校生におすすめしたい」ベストテンを決めるブックランキングです。

有志の県立高校司書・県立図書館司書で組織された実行委員によって運営されており、「イチオシ本 2022」で 13 回目を迎えます。投票には毎年 100 人以上の高校図書館司書（私立高校の専任司書教諭を含む）が参加しており、毎年2月の発表後には、県内の書店や公共図書館で「イチオシ本フェア」が行われるなど県内に深く定着しています。

「図書館と県民のつどい埼玉」がリアル開催

の際は、「イチオシ本」に選ばれた作品を展示していましたが、オンライン開催となった昨年度からは、ウェブ展示での参加となりました。今年度は昨年度同様、イチオシ本公式サイトへのリンク掲載に加え、「イチオシ本豆知識」として①選考について②年間スケジュール③実行委員会④イチ王子についての記事、そしてイチオシ本 YouTube のリンクを掲載しました。

実際にパンフレットや本を手にとっていただくことはできませんでしたが、公式サイトや YouTube をご覧になった方が、「イチオシ本」の取り組みに、少しでも興味を持っていただけたら嬉しく思います。

■最後に

今回は、2度目のオンライン開催ということでしたが、ウェブサイトへの掲載がなかなかスムーズにいきませんでした。IT スキルの高い人がいないとできないオンライン開催への参加は、ハードルが高いと感じます。

「図書館と県民のつどい 2022」全体の Live 配信視聴者は昨年度の 726 人から 401 人と半減したと聞きました。宣伝活動も気が抜けないということでしょう。

「図書館と県民のつどい埼玉」の最終的な目的は、県内の図書館、県立図書館、公共図書館、大学図書館、高校図書館が協力して、埼玉県民の図書館に対する理解を深めてもらうことです。コロナ禍でいたし方ないところもありますが、足を運べる範囲の人がリアルに対話しながら、いろいろな図書館体験をしてもらうところに、意義があるのではないのでしょうか？

来年はコロナが収まって、リアル開催ができることを望みます。

(記録：埼玉県立越ヶ谷高校図書館 石黒 順子)

城西大学による WEB 展示

学生アドバイザー活動 10 年の軌跡

学生の身近な存在である学生・大学院生が図書館に常駐し、学習支援を行うサポーターとして、2012年に「学生アドバイザー」が誕生しました。今回の展示はアドバイザー誕生から10年目の節目の年に10年間の活動を振り返り、年表にまとめ御紹介しました。

学生アドバイザーの活動は、学習支援だけにとどまらず、図書館利用促進のために数多くのイベントを実施してきました。学生が楽しみながら参加できる季節の展示「七夕」や「クリスマス」の飾り付けはもちろん、学部間の交流を目指し2012年度にスタートした「ライブラリーラウンジ」は、今年度23回目を迎えました。第23回はグループに分かれSDGsをテーマにしたカードゲームを行い、教職員や地域の方も参加し、大いに盛り上がりました。学習相談の対応に加え、イベントの企画・広報・当日の司会進行などを経験することは、学生アドバイザーの成長にもつながっています。

今回の展示作品を作成するにあたり、10年間の活動を振り返れたことはアドバイザーにとって貴重な機会となり、今後の活動にもますます期待しています。



（記録：城西大学 山口 直美）

山村学園短期大学による WEB 展示

ほいくのたまてばこ

保育士・幼稚園教諭を養成する短期大学の小さな図書館です。鳩山町の自然豊かな比企丘陵に位置し、保育・幼児教育専門書や定期刊行物を備え、実習関係資料も豊富です。

WEB展示では、下記の項目に分けて御紹介しました。

「**図書館が一番好きな場所**」：学内アンケートでは、常に人気ナンバーワン。授業や実習準備のための利用が多く落ち着く場所です。

「**絵本コーナー（雑誌・定期刊行物）**」：入ってすぐ玉手箱の様に楽しい絵本コーナーが有り、学園祭では乳幼児を含めた皆さんの休憩場所ともなっています。大型絵本、布絵本、仕掛け絵本、紙芝居等が有りソファや絨毯上に座り楽しむことが出来る癒しの空間です。

「**季節の展示（楽しい飾り付け）**」：入口・館内の季節装飾は利用者も楽しみにしています。

「**イベント・行事に参加**」：新入生歓迎会や学園祭等のイベントで、読み聞かせや展示、ゲームなど図書館らしい参加をしています。

「**学園100周年展示（創立者は若い女性）**」：創立当初の写真や沿革を展示。学生と同世代の二十歳の女性が困難の中で裁縫伝習所をつくり、子育てをしながら女子教育に力を注ぎ、山村学園高等学校・山村国際高等学校・本学短大を設置しました（現在は共学）。



（記録：山村学園短期大学図書館 品川 今日子）

国立女性教育会館

女性教育情報センターによるWEB展示

SDGs ゴール5

『ジェンダー平等』を学ぼう

対象者別図書案内

男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館「女性教育情報センター」では、専門的な資料のほか子ども向けの図書や絵本も所蔵しています。

2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)のゴール5は「ジェンダー平等を実現しよう」です。WEB展示にあたり、当館所蔵資料からジェンダー平等について学べる子ども向け、大人向けの図書や絵本を選びました。また、今回はSDGsゴール5「ジェンダー平等」のうち、5.2と5.6にも注目し、当センターテーマ展示から「生命の安全教育を学ぼう～子ども・若者を性犯罪・性暴力の当事者にならないために～」も御紹介しました。

オンライン開催への参加で多くの方に御覧いただけたことは、当センターの図書館サービスを周知するうえでも貴重な機会となりました。



(記録:国立女性教育会館 谷口 瑞枝)

生涯学習推進課によるWEB展示

県民とともにつくる

新県立図書館ワークショップ

■展示概要

埼玉県教育委員会は、2022年8月20日(土)、9月10日(土)、9月28日(水)、10月15日(日)に県民参加型のワークショップを行いました。第1部であげられた47個のアイデアを、第2部ではなぜその図書館が必要なのか(Why?)、どのような方法やサービスで実現するのか(How?)について話し合いを重ねました。

今回の展示では、ワークショップの手法、第2部のアイデア、Why?、How?を紹介しました。

- 調べるだけでなく、その場でディスカッションまで行える図書館
- 実際のアイデアのアウトプットまで支援できる図書館
- 県域全体に一括で電子書籍を提供するなどICTが充実した学校図書館支援センター
- リアルと仮想空間の図書館の双方の利点を活用した図書館
- 地域・知識・旅・遊び・学び・趣味・音楽・医療など、埼玉県のことなら全てわかる図書館
- 文武両道(カルチャー&スポーツ施設との複合化による)ハイブリッド図書館

本や図書館について語り合ってきた「図書館と県民のつどい埼玉」において、さまざまな立場の皆様が、新しい県立図書館についても対話・交流し続けることを期待しました。

■参考

その他のアイデア・ワークショップの詳細は、埼玉県ホームページを御覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/toshokan/r4shinkenritsu-workshop.html>

(記録:生涯学習推進課 山縣 睦子)

WEB 展示まとめ

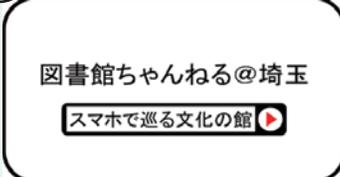
公共



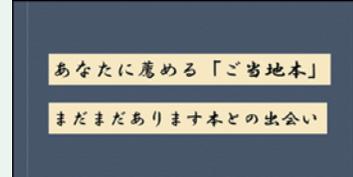
知っ得! レファレンスサービス
～まだ利用したことがないあなたに
知ってほしい 10 のこと～



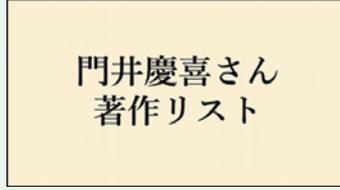
読めない人のためのバリアフリー資料展



図書館ちゃんねる@埼玉
～スマホで巡る文化の館～



あなたに薦める「ご当地本」
～まだまだあります本との出会い～



門井慶喜さん著作リスト



うちの推し、集めてみました。
～展示写真アルバム～

高校



本 × 青春 (アオハル)! =
高校の図書委員会



埼玉県の高校図書館司書が
選んだイチオシ本



県民が選んだ埼玉県推奨図書

大学ほか



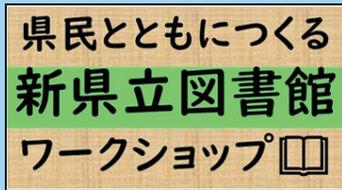
学生アドバイザー活動 10年の軌跡
城西大学水田記念図書館



ほいくのたまてばこ
山村学園短期大学図書館



SDGs 目標5 『ジェンダー平等』を学ぼう
対象者別図書案内
国立女性教育会館女性教育情報センター



県民とともに作る新県立図書館ワークショップ
生涯学習推進課



埼玉福祉会



伊藤伊

協賛企業

WEB 展示のバナー一覧です。公共図書館部会5展示、高校図書館部会4展示、大学図書館ほか4展示及び協賛企業3展示の計17展示となりました。12月10日(土)から1月31日(火)まで公開し、ページ表示回数は、計7,431回でした。

(記録：埼玉県立熊谷図書館 大高 広頌)



ネットギャラリー

協賛企業・プレゼント

株式会社伊藤伊様、キハラ株式会社様、埼玉新聞社様、社会福祉法人埼玉福祉会様、ネットギャラリー様から協賛いただきました。改めてお礼申し上げます。各社様からグッズのプレゼントと、埼玉新聞社様からは、中学生のビブリオバトルのトロフィーを御提供いただきました。また、オリジナルグッズとしてトートバックを作成し、協賛企業様の提供グッズとセットにし、応募者にプレゼントしました。この他にも中学生のビブリオバトル予選会に出場された生徒の皆さんに提供グッズを参加賞としてお渡ししました。

(記録：埼玉県立熊谷図書館 大高 広頌)



1

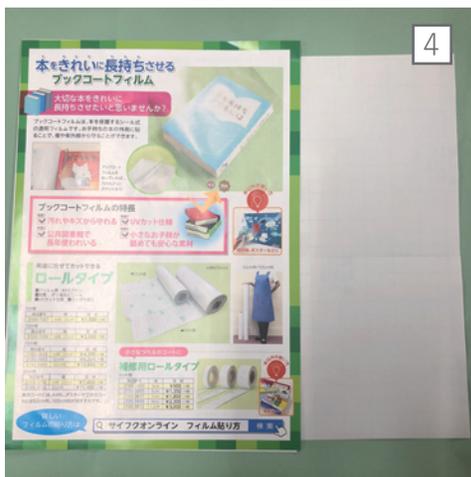
- 1：オリジナルトートバッグ
- 2：伊藤伊様（ミニブックキット）
- 3：キハラ様（ライブラリーワッペン、ブックゼムクリップ、図書館ばっち、図書館じしゃく）
- 4：埼玉福祉会様（ブックコートフィルム）
- 5：ネットギャラリー様（クリアファイル、ボールペン）



2



3



4



5

後日配信

門井慶喜さん記念講演、高柳芳恵さん講演会、及び中学生のビブリオバトル決勝では、Live 配信に加えて後日配信も行いました。

後日配信の公開に際しては、それぞれの配信の魅力がより伝わるよう、字幕と画像の追加、音声の調整など動画を編集しました。

12月下旬、動画編集が完了したのから順次後日配信を開始して、令和5年1月31日（火）まで動画を公開しました。視聴者数は延べ795人にのぼり、アンケートでは、「好きな時間に見ることができてありがたい」「興味のある部分を見返すことができてよかった」という声も寄せられ、好評でした。

初めての動画編集で担当者は苦戦することばかりでしたが、当日参加できなかつた方に見ていただく機会が作れたことは大きなメリットだと感じました。



門井慶喜さん後日配信画面



高柳芳恵さん後日配信画面



中学生のビブリオバトル決勝
後日配信画面

公共図書館による協賛展示

今年度の新たな試みとして、県内公共図書館に向けて協賛展示の募集を行いました。協賛展示とは「図書館と県民のつどい埼玉」の趣旨に沿った展示を各図書館を会場に行っていただいた場合、その展示を「図書館と県民のつどい埼玉 2022」のウェブサイト上で御紹介し、併せて各図書館ウェブサイトへのリンクを掲載するというものです。展示には「図書館と県民のつどい 2022 協賛」の表示をつけていただくことで、「図書館と県民のつどい」と「各公共図書館の展示」の両方を多くの方に知ってもらおうと考えました。今年度は埼玉県立久喜図書館と所沢市立所沢図書館の2館が協賛展示に御協力いただきました。今後、より県民の皆様は図書館の良さを知ってもらえるよう、公共図書館間でのつながりが広まることに尽力します。

(記録：埼玉県立熊谷図書館 大高 広頌)



埼玉県立久喜図書館

資料展「自然は不思議がいっぱい！高柳芳恵さんの世界（ドングリ、セミ、科学あそび）」
 今回の資料展示では、高柳芳恵さんの作品や科学あそびに関する本を集めました。高柳芳恵さんの作品は、身近な自然に不思議がいっぱいあることを教えてくれます。
 また、特に身近なドングリやセミについて知る本もご紹介し、子どもたちが自然に好奇心を持つために、自然科学の本を一緒に読んで想像力を育ててみませんか？
 作品を通して発見の喜びを感じてください。



資料展リスト

期間 12月15日まで 場所 埼玉県立久喜図書館【久喜市下草見85-5】

資料展「自然は不思議がいっぱい！高柳芳恵さんの世界」-埼玉県立久喜図書館-



所沢市立所沢図書館

特集展示「所沢の魅力を発見！（図書館と県民のつどい埼玉2022 協賛）」

「図書館と県民のつどい埼玉2022」との協賛で所沢の郷土資料の展示を行います。所沢の魅力を紹介しておりますので、ご来館の際には是非ご覧ください。

期間 12月28日まで 場所 所沢市立所沢図書館【所沢市並木1丁目13番地】

特集展示「所沢の魅力を発見！」-所沢市立所沢図書館-

図書館と県民のつどい埼玉 2022 関係者名簿

(敬称略・順不同、所属は令和5年2月現在)

企画委員

- 天達 新一 (川越市立寺尾中学校、埼玉県学校図書館協議会)
- 石黒 順子 (埼玉県立越ヶ谷高等学校、埼玉県高等学校図書館研究会)
- 木下 通子 (埼玉県立浦和第一女子高等学校)
- 山縣 睦子 (埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課)
- 関 信子 (埼玉県立久喜図書館)
- 小熊 ますみ (埼玉県立熊谷図書館)

実行委員 ★: 企画委員を兼任

○ こども読書活動交流集会

- 青木 さち子 (おはなしの会「虹」)
- 中村 涼子 (浦和子どもの本連絡会)

★関 信子 (埼玉県立久喜図書館)

- 田島 奈津美 (埼玉県立久喜図書館)

○ 公共図書館部会

★小熊 ますみ (埼玉県立熊谷図書館)

- 五十嵐 雪将 (埼玉県立久喜図書館)
- 松山 裕輝 (埼玉県立久喜図書館)

○ 高校図書館部会

★石黒 順子 (埼玉県立越ヶ谷高等学校)

- 風早 聡子 (埼玉県立越谷西高等学校)
- 南 佳奈子 (埼玉県立越谷北高等学校)
- 稲森 千夏 (埼玉県立川口北高等学校)
- 永野 綾子 (埼玉県立戸田翔陽高等学校)
- 森安 周平 (埼玉県立川口東高等学校)

○ ビブリオバトル実行委員会

★天達 新一 (川越市立寺尾中学校)

★木下 通子 (埼玉県立浦和第一女子高等学校)

- 杉本 太志 (埼玉県立岩槻商業高等学校)

- 大澤 尚美 (鴻巣よみきかせの会)

- 米田 佳子 (トムの会)

- 須藤 ゆみ子 (埼玉県立久喜図書館)

- 鈴木 絵理奈 (埼玉県立久喜図書館)

- 松本 明文 (埼玉県立熊谷図書館)

- 山本 輝子 (埼玉県立久喜図書館)

- 林 美樹 (埼玉県立熊谷図書館)

- 小野 裕之 (埼玉県立越谷総合技術高等学校)

- 原 愛子 (埼玉県立越谷東高等学校)

- 池田 光 (埼玉県立南稜高等学校)

- 関根 亮 (埼玉県立川口青陵高等学校)

- 中山 淳子 (埼玉県立鳩ヶ谷高等学校)

- 中山 浩二 (聖学院大学)

- 新井 直也 (埼玉県立小川高等学校)

- 林 夢果 (埼玉県立熊谷図書館)

特別協力

- WEB 展示（埼玉県推奨図書）協力 埼玉県県民生活部青少年課

スタッフ・協力

- 公共図書館部会
尾崎 栞（埼玉県立久喜図書館）
- 高校図書館部会
紺野 佐和枝（埼玉県立春日部女子高等学校） 木下 通子（埼玉県立浦和第一女子高等学校）
- 埼玉県大学・短期大学図書館協議会（SALA）
- 大学図書館ほか
谷口 瑞枝（国立女性教育会館） 関口 千登世（城西大学）
品川 今日子（山村学園短期大学）

埼玉県図書館協会・埼玉県教育委員会

- 石井 宏明（埼玉県教育局市町村支援部長）
- 高津 導（埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課長）
- 中澤 幹雄（埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課副課長）
- 上松 寿明（埼玉県図書館協会会長・埼玉県立久喜図書館長）
- 加藤 健次（埼玉県図書館協会理事長・埼玉県立熊谷図書館長）

○ 事務局スタッフ

（埼玉県立熊谷図書館）

川目 晴久 神原 陽子 川田 明秀 大高 広頌

（埼玉県立久喜図書館）

押江 成行

（埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課）

鈴木 寿明

「図書館と県民のつどい埼玉 2022」の開催に御協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

図書館と県民のつどい埼玉 2022 ーみんなが「図書館」でつながる日ー

- 趣旨 1 県内図書館の様々な活動を県民に紹介することで、図書館に対する県民の理解を深め、親しみを持ってもらう。
- 2 県民との交流を通じて、より良い図書館サービスを考える契機とする。
- 3 埼玉県内の子供読書活動に携わる方々や、公共図書館・大学図書館・高校図書館等の協働により実施することで、図書館に関わる連携を深める。
- 日時 Live 配信 : 2022 年 12 月 10 日 (土)、11 日 (日)
後日配信 : 2023 年 1 月 31 日 (火) まで
WEB 展示 : 2022 年 12 月 10 日 (土) から 2023 年 1 月 31 日 (火) まで
- 開催 オンライン開催
- 内容 門井慶喜さん記念講演
「家康に学び、江戸に学ぶ」
高柳芳恵さん講演会
「自然はふしぎがいっぱい！ー好奇心をかきたてる身近な自然との向き合い方ー」
中学生のビブリオバトル決勝
司書が語る！ Live イベント
・公共図書館部会
・高校図書館部会
司書が魅せる！ WEB 展示
・公共図書館部会 5 展示
・高校図書館部会 4 展示
・大学図書館ほか 4 展示
後日配信
・門井慶喜さん記念講演
・高柳芳恵さん講演会
・中学生のビブリオバトル決勝
- 主催 埼玉県図書館協会、埼玉県、埼玉県教育委員会、埼玉県学校図書館協議会、
埼玉県高等学校図書館研究会、埼玉県芸術文化祭実行委員会
- 共催 さいたま文学館
- 後援 NHK さいたま放送局、FM NACK 5、テレ玉、公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部
埼玉県大学・短期大学図書館協議会 (SALA)
- 協力 公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部助成事業
- 協賛 株式会社伊藤伊、キハラ株式会社、埼玉新聞社、社会福祉法人埼玉福祉会、ネットギャラリー、
埼玉まなびいプロジェクト

Zoom オンライン開催

参加無料
県外の方もOK!

図書館と県民のつどい埼玉

～みんなが図書館でつながる日～

2022 12/10(土)・11(日) 10:00-16:00

図書館と県民のつどい埼玉 検索 www.sailib.net/tudoi2022

埼玉県内の図書館が大集合、年に一度の図書館まつり！
どなたでも参加できます。お気軽に参加してください。

12/10(土) 11:00-12:00

中学生のビブリオバトル決勝

定員 200名
Live配信 12/4まで
申込期間 抽選
申込方法 WEB 後日配信 申込不要

ビブリオバトルとは、おすすめの本を持ち寄って、5分間で本を紹介し、一番読みたくなった本「チャンプ本」を参加者の投票で決定するという書評ゲームです。

12/10(土) 13:30-15:30

こども読書活動交流集会
高柳芳恵さん講演会

「自然はふしぎがいっぱい！
好奇心をかきたてる
身近な自然との向き合い方」

定員 450名
Live配信 12/4まで
申込期間 抽選
後日配信 1/30まで
申込期間 定員無し
申込方法 WEB

絵本作家、サイエンスライター
科学読み物研究会会員

12/11(日) 10:40-12:00

作家 **門井慶喜さん**
記念講演

「家康に学び、江戸に学ぶ」

定員 450名
Live配信 12/4まで
申込期間 抽選
後日配信 1/30まで
申込期間 定員無し
申込方法 WEB

写真提供 講談社

12/11(日) 12:20-15:20

司書が語る！Liveイベント
埼玉県内の様々な図書館の司書が、
Liveでお話しします。

最大同時接続数 200名 申込 不要

12/11(日) 12:20-13:20

読めない人の読書事情
バリアフリー資料の今とこれから

12/11(日) 13:40-14:20

高校図書館を
のぞいてみよう 越谷エリア

12/11(日) 14:40-15:20

高校図書館を
のぞいてみよう 川口エリア

12/10(土)～1/31(火)

司書が魅せる！WEB展示
市町村立図書館、県立図書館、高校図書館、
大学図書館などによる展示をWeb上に
公開します！詳細は裏面をご覧ください。

- 本×青春！高校の図書委員会
- 知っ得！レファレンスサービス
- うちの推し、集めてみました。
- 県民が選んだ埼玉県推奨図書
- 司書が選んだイチオシ本…など

ほかにも多数展示！

お知らせ①

オリジナルバッグをプレゼント
かわいいロゴの入ったトートバッグを
抽選でプレゼント！
詳細はWEBをご覧ください。

お知らせ②

1/31まで後日配信！！
12/10、11にLiveで見られなかった方も、ビブリオバトル、高柳芳恵さん講演会、門井慶喜さん
記念講演は、後日配信でご覧いただけます。
詳細は裏面をご覧ください。

お問い合わせ 埼玉県図書館協会(埼玉県立熊谷図書館内)
☎048-523-6291 ✉k2362911@prof.saitama.lg.jp

主催/埼玉県図書館協会、埼玉県教育委員会、埼玉県高等学校図書館研究会、埼玉県美術文化振興委員会
共催/さいたま文学館、読書/NHKさいたま放送局、FM NACK5、テレビ玉、公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部、埼玉県大学・短期大学・専門学校図書館協会(SALA)
協力/公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部の部会 協賛/株式会社伊藤洋行、キョウバ株式会社、埼玉新聞社、社会福祉法人埼玉福祉会、ネットキャリア、埼玉まよひ、プロジェクト

埼玉県 芸術文化祭

大級の図書館イベント！

は、本に興味をもっていたきたい、図書館について知っていたきた。今年で16回目になります。
学等の図書館が協力し開催する県内最大級の図書館イベントです。

図書館と県民のつどい埼玉

Live配信 2022年12月10日、11日 後日配信 2023年1月31日まで

図書館と県民のつどい埼玉 検索 <https://www.sailib.net/tudoi2022>

※今年度はオンラインのみでの開催です。会場でのイベントはありません。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

門井慶喜さん記念講演
12月11日(日) 10:40～12:00

「家康に学び、江戸に学ぶ」

定員 450名 / Live配信: 要申込 / 後日配信: 要申込

写真提供 講談社

門井慶喜さん(作家)
1971年群馬県桐生市生まれ。栃木県宇都宮市にて育つ。同志社大学文学部卒業。2003年、第42回オール读物者特別賞を受賞。『キッドアップーズ』で児童文学デビュー。15年に『東京伊豆大飯店』が第153回読水賞候補。16年に『家康、江戸を建てる』が第155回読水賞候補となる。16年に『マジカル・ヒストリー・ツアー ミステリと美術で読む近代』で第69回日本推理作家协会賞(評論その他の部門)、同年に『くやこの花袋(文芸春秋の他部門)』を受賞。18年に『暗黒街の父』で第158回読水賞を受賞。他の著書に『東京、はじまる』『ロミオとジュリエットと三人の魔女』『信長、鉄砲で君臨する』などがある。

公共図書館

**こども読書活動交流集会
高柳芳恵さん講演会**
12月10日(土) 13:30～15:30

「自然はふしぎがいっぱい！
好奇心をかきたてる
身近な自然との向き合い方」

定員 450名 / Live配信: 要申込 / 後日配信: 要申込

高柳芳恵さん(絵本作家、サイエンスライター、科学読み物研究会会員)
随分とも知ってるせせやんぐり。でも意外と知らないとなみの歌々を弄真と実情のかけがえのない絵本。それらを使ったよと変わった道もも話します。さらに、科学絵本の魅力や、ご自身の体験や書寫をふまえて、お話していただきます。

中学生のビブリオバトル決勝
12月10日(土) 11:00～12:00

定員 200名 / Live配信: 要申込 / 後日配信: 申込不要

中学生がおすすめの本の魅力を語ります。
予選を勝ち上がった中学生たちによる、ビブリオバトル決勝です。
※Live配信に申し込んだ方は投票できます(投票はできません)。

司書が魅せる！WEB展示
12月10日(土)～1月31日(火)

- 知っ得！レファレンスサービス
～まだ利用しなかったことがないあなたに知ってほしい10のこと～
- 図書館ちゃんねる@埼玉
～「本がいっぱい」だけじゃない！スマホで送る文化の館～
- あなたに薦める「ご当地本」
～書も開けば歴史の世界もまたありまます本との出会い～
- 読めない人のためのバリアフリー資料展
手で読む、目で読む、耳で読む。発達障害や視覚障害の方の本をご紹介します！
- 門井慶喜さん著作リスト展示
記念講演講師の作家・門井慶喜さんの著作リストをご紹介します！
- うちの推し、集めてみました。
高校司書(図書館員)による埼玉の展示写真＆ブックリストを大公開！
- 本×青春！高校の図書委員会
川口・蕨・戸田の高校生たちがつくる図書委員会の「アワード」ご紹介！
- 埼玉県の高校司書が選んだイチオシ本
イチオシ本 2021公開！特別インタビュー映像もお見逃しなく！
- 県民が選んだ令和4年度埼玉県推奨図書
埼玉に暮らす青少年の皆さんに読んでほしい推薦図書のWEB展示！
- 学生アドバイザー活動10年の軌跡
(城西大学水田記念図書館)
- ほいくのたまはご
(山形大学短期大学図書館)
- SDGs 目標5『ジェンダー平等』を学ぼう
対象者別図書案内(国立女性教育会館女性教育情報センター)
- 県民とともに作る新県立図書館ワークショップ
(熊毛学園書庫)

タイムスケジュール

時間	12月10日(土)	12月11日(日)
10:00		
11:00	中学生のビブリオバトル決勝	門井慶喜さん記念講演
12:00		読めない人の読書事情 バリアフリー資料の今とこれから
13:00		高校図書館をのぞいてみよう 越谷
13:30		高校図書館をのぞいてみよう 川口
14:00	高柳芳恵さん講演会	高校図書館をのぞいてみよう 川口
15:00		
15:30		
16:00		

申込方法

以下ウェブサイトからお申込みください。
<https://www.sailib.net/tudoi2022>

図書館と県民のつどい埼玉 検索

申込期間

Live配信: 12月4日(日)まで 後日配信: 1月30日(月)まで

※Live配信は抽選、後日配信は定員制です。
※イベントによっては、後日配信の申込みが必要なものがあります。

その他

門井慶喜さん記念講演、高柳芳恵さん講演会のLive配信にお申込みいただいた方全員に、後日配信のパスワードをお送りします。
後日配信のみ希望の申込みも受け付けます。

図書館と県民のつどい埼玉 2022

みんなが図書館でつながる日

記録集

令和5年3月発行

編集・発行 埼玉県図書館協会（埼玉県立熊谷図書館内）

〒360-0014 熊谷市箱田 5-6-1 TEL 048-523-6291 FAX 048-523-6468